

平成26年度 第3回 広島県立大崎海星高等学校活性化地域協議会 議事要旨

【日 時】 平成26年11月28日（金）15：00～17：00

【場 所】 広島県立大崎海星高等学校

【出席者】（敬称略，50音順）

出口 一伸，大林 秀則，小林 弘晃，小林 弘志，高田 幸典，二宮 力（委員6名）

三浦 喜成，依田 功二（広島県教育委員会事務局2名）

【議事概要】

1 開 会

○校長挨拶 ○会長挨拶

2 報 告

- (1) 第2回協議内容について
- (2) アンケート結果報告について
- (3) 中高連携に係る実務者会議報告について

3 協 議

- (1) 学校に期待される役割及び活性化の方向性について

①魅力づくりについて

○外部人材を活用し，学校の魅力化・地域の活性化を考える必要があるのではないか。

→ 12/11（木）11：00～13：00の日程で町議会に対する説明会を開催するので，協議会の委員も参加する。

○幼小中高と連動した取組による活性化が必要である。

→ 教育内容を基軸としたプランを作成する。

②中高連携について

○中高連携は確実に前進している。中学生と高校生の心の交流ができるように取り組んで欲しい。

→ 中高の担当者による実務者会議での検討を継続する。

○高校生が考える取組を実施したらどうか。

→ 生徒に考えを聞く場面を設定する。

③地域ぐるみの活性化の方策について

○地域が来やすい高校になるための方策を考える必要があるのではないか。

※1 例えば文化祭のバザーに，地域から出店してもらう等も考えられる。
（特に，インターンシップを実施した島内の事業所に出店してもらう）

→ 行事の計画時に検討する。

④生徒募集について

○県外募集を考えたら，特色ある部活動を作る必要があるのではないか。

→ 方策の一つであるが，教育活動の充実による魅力づくりを考える中で検討する。

○「海星に行ってやってみたい」と思われるような特徴ある取組について，生徒の発想で考えさせてみたらどうか。

→ 生徒に考えを聞く場面を設定する。

○校舎の新築を契機に，「学ぶ」環境を前面に打ち出したらどうか。

→ 高校の魅力化の大きな要素として，情報発信する。

○制服を変えることも方法の一つではないか。

→ 検討する。

4 まとめ

5 閉 会

○会長挨拶 ○次回の開催予定 2月10日（火）15：00～17：00



※本協議会は，公開としております。